

## 忘れられない軽井沢ゴルフ ゴルフ同好会この指とまれ

(神奈川県横浜市)

日時：2020年7月7日(火)~8日(水)

コース：太平洋クラブ軽井沢リゾート

参加者：10名

### 雨天だが楽しくプレー

九州で大規模な水害が発生し、テレビニュースで大きく報道されているときでした。小雨の中不安にかられながら自宅を出ました。電車で向かう途中、晴れ間さえ見える状況になり、明るいプレー風景を想像しながら軽井沢駅に到着しました。

ゴルフ場にクラブバスで向かいました。ところが次第に霧が深まり雨もしとしと降り始めました。が、ゴルフ場に到着してみると、雨はさほどでもなく、勇んで着替えをし、合羽で身を固めました。練習もそこそこにプレーに臨みました。コースの手入れはよく、水はけもよいので、時折のザーッと来る雨も気にならず、楽しくプレーできました。午後は雨がほとんど上がり、梅雨の晴れ間の中中で初日のプレーを終えました。とても幸運でした。プレー後の風呂にも入りました。(コロナで禁止が多い)

### 宿泊は快適、フランス料理は無口で

ホテルは4人部屋に3人で、しかも私達はメゾネットでしたので、ゆったりくつろぐことができました。部屋から見える窓越しに、霧に霞む軽井沢の山々とゴルフ場のコースが見下ろせ、心とむ雰囲気も味わうことができました。

楽しみの懇親夕食会ですが、コロナ対策で一人おきに座り、アルコールやお話も大幅に控えめに、ということで静かな夕食会でした。料理はフランス風料理で1杯のビールには楚々としてよく合うものだと思います。テーブルによってはそれなりに賑やかに会話を楽しんでいたようで、家族連れや子供もいました。食事後は静かに自分の室へ戻りました。

### 二日目カート道路が川になる

翌日、本降りの雨のようで不安がよぎりました。朝食後、合羽を着てスタート場に行くと、カートは用意されいつでも出られる状態でした。私たちの組はMさん、YAさん、Sさんで、用意万端の準備をしてほだなくスタートしました。しかし雨は若干小降りにはなったものの、私達の組以外は見当たりません、この時点で既にゴルフ同好会の他の仲間は、帰宅されることになっていました。私達は、来たのだからより多く楽しんで帰ろう！ということで勇気

をもってスタートしました。ゴルフ場には、私達の他にもプレーする人はいたようです。

2ホール目までは小雨でしたが、3ホールに至る途中から雨が激しくなり、坂道となるカート道路は川のように急変しました。それでもショートの打ち下ろし第3ホール1打目は豪雨の中のショットになり、坂を下ってボールを探すも水溜まりになっていて分らず、代わりのボールで第2打を打つもビシッと落ちた所で止まる始末。バンカーは池、グリーンにもいくつかの小さな池があちこちにできていて、パットは思い切り打っても1mも走らず、雨は容赦ないどしゃ降り、ここでやむなく中止して避難小屋に駆け込みました。その途中では、カート道路が激しく流れる川となりほうほうの体でした。小降りになるのを待ちました。

### ゴルフ場の係員が来援

避難小屋に入り10分位した頃、ゴルフ場の係の人が来てなにやら言っているのです。なんと、この豪雨で事故が起きないよう救助に来たとのこと。私達は軽く考えていたのですが、その救助員は途中カートが水没して動かなくなったので、歩いて避難小屋まで来て、私達のカートに違法乗車(2人乗に3人)してホームに戻ると言う。それに従いクラブハウスに無事戻りましたが、私たち以外は誰もおりません。どうせなら少し早いけどゆっくりビールを飲んでと、軽い昼食を頂きました。

### 午後はゴルフ日和でホールアウト

なんと、食事が終わる頃には雨が上がり、陽が差してきてゴルフができる状況になりました。当然私達はそのままプレーに入り、中断した悪夢の第3ホールから続けました。その後は雨もなく快適にプレーを楽しみ、お風呂もゆっくり入り、少し休んでお土産も買い、予定通りのクラブバスで帰路につき、予定通りの電車で帰宅することができました。

思えば随分事件と変化の大きい、また思い出多い楽しいゴルフになりました。私達の一生の思い出になることでしょう。滅多に経験できない実にラッキーな一日でした。